

環境・生態系保全対策 技術講習会（干潟・浅場）【三重会場】

平成23年8月3日（水）～8月4日（木）の2日間、三重県伊勢市において、干潟・浅場の技術講習会を開催いたしました。参加者は、北海道、兵庫、山口、高知、福岡、鹿児島など多くの地域からご参加いただきました（参加者数50名）。

この講習会では、研修先である「今一色干潟保全会」において実際に取り組まれている保全活動の内容を座学や野外実習を通して具体的に学びました。野外実習においては、「今一色干潟保全会」が実施している噴流式ポンプを使った海底耕うん作業の見学をし、干潟では海苔ひび支柱柵や、カキ殻を使った新技術である「ケアシェル」などを視察・体験しました。

また、体験型の実習に加え、「干潟・浅場域の生産力向上のためのモニタリング・保全活動のポイント」と題し専門家から活動に対する具体的なアドバイスを頂きました。さらに、参加した各地域の活動組織からそれぞれの活動の状況と課題を発表して頂き、討議・意見交換するなど、有意義な2日間となりました。

● 講義



「今一色干潟保全会」の活動内容の紹介

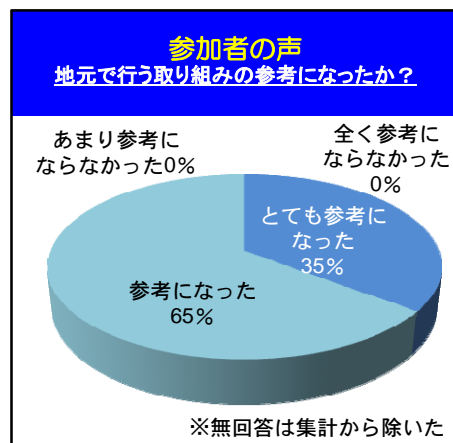


干潟・浅場域の生産力向上のためのモニタリング・保全活動のポイント

● 意見交換会



参加者による各地域の活動状況の発表と意見交換会



● 野外実習



地元の活動組織の方に、使用している機器等について説明して頂きながら実習を行いました



海底耕うん作業の視察



海苔ひび支柱柵の設置状況を視察



方形枠とふるいを使った生物採取実習



耕うん作業中



新技術「ケアシェル」を視察